

科目名	人間工学					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年	後期
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 人間工学とは人間と機械との整合性を深め、両者の安全性と快適性を高めることを目的とした学問である。人体の構造や感覚および運動機能の特徴を説明し、人間と機械との接点となるインターフェースについて解説する。力学的、生理学的、運動学的な視点を持った臨床工学技士の育成を目指す。										
<b>【実務者経験】</b>										
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 人体の特徴と人と機械の接点に関する基本的事項を講義によって解説する。可能な限り具体例を挙げ、人間工学がどのように安全と快適に寄与するかを身近な出来事に落とし込み解説していく。										
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> 人体の生理学、運動力学の基本事項を述べることができるようになる。 各種インターフェースの特徴について説明することができるようになる。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	授業ガイダンス。人間工学の概要について									
2	人体の基本的な運動力学的特徴について									
3	人の心理的な特徴と機械との整合性について									
4	医療機器の役割と特性とは何か									
5	インターフェースの概要について学ぶ									
6	人体の反応時間について理解する									
7	手や足による操作器について学ぶ									
8	視覚表示器と目の仕組みについて学ぶ									
9	聴覚表示器と耳の仕組みについて学ぶ									
10	人体の触覚と触覚表示器について学ぶ									
11	安全性を高めるインターフェースの配置とは									
12	人体の情報処理能力について									
13	操作手順と駆動方法によるシステムの安全性について									
14	人間工学を活用した医療安全の向上を目指して									
15	総復習とまとめ、テスト対策									
定期筆記試験										
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ・配布資料										
<b>【準備学習・時間外学習】</b> ・事前学習として身近にある人間工学が活用されていると考えられるモノを意識して探すこと ・事後学習として講義ノートを自分に最も分かりやすい形式にまとめること										
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する 試験は定期試験のみ実施とし 60点以上の場合に科目を認定する										